

暁鐘

ぎょう

しょう



第105号
R4.2.1 発行

大山公民館だより【694号】

日田市大山公民館
日田市大山町西大山 3600 番地
TEL: 0973-52-3255 FAX: 0973-52-3315
<http://www.hita-k.org/oyama/>
oyama-k@hita-net.jp



日田市成人式が開催されました

大山っ子チャレンジ教室「しめ縄作り」(記事次ページ)



1月9日(日)、パトリア日田にて日田市成人式が執り行われ、日田市で528名、大山地区で21名が参加しました。大山地区を代表して森さんが成人証書を受け取りました。



新型コロナウイルス変異株感染拡大にともなう公民館利用について

大分県は1月27日～2月20日まで「まん延防止等重点措置」が出されています。

大山公民館の公民館利用については以下の対策を2月20日まで行います。

- 大声をとまなう教室講座・マスクを取る場面がある活動の自粛
- 部屋の収容人数の半数での利用
長机1台につき1名まで
調理台1台につき3名まで
- 基本的感染予防対策の徹底(検温・手指消毒・マスク着用・換気・使用した机椅子の消毒)

ご協力よろしくお願いいたします。

女性セミナー

フラワーアレンジで謹賀新年

女性セミナー第5講「お正月フラワーアレンジ」講座を12月22日（水）大山公民館で開催、会員10名が参加しました。講師の後藤尚美さんにご指導いただき、黄色い菊やカーネーションなど可愛らしい花材を使って後藤さんのお手本作品を参考にアレンジを完成させました。



「花ひとつひとつの存在を目立つようにアレンジして」と後藤さん

歌を歌って人権を学びました

女性セミナー第6講は「人権学習会」を行いました。うきは市人権教育啓発講師の原田一郎さんに「暮らしの中に豊かな人権感覚を～流行歌からのメッセージ」と題して講演いただきました。講演では歌のイントロクイズをして合唱。今まで何気に歌っていた唱歌や歌謡曲に子どもの人権や同和問題にまつわる悲しく切ない実話が込められていることを知りました。



参加者7名が2班に分かれて自己紹介。

「最近うれしかったこと」など発表し和気あいあいとした講座になりました

料理教室

お馴染みのお正月料理に挑戦！

12月15日に開催の料理教室第3講「お正月料理」を大山公民館調理室で開催、会員10名が参加しました。

日田市食生活改善推進協議会大山支部の森さんと合谷さんに指導いただき「がめ煮」「だし巻き玉子」「きんとん」「ほうれん草の白和え」を調理しました。

がめ煮はだし汁をたっぷり入れる、だし巻き玉子は弱火で焦がさないように、きんとんはさつまいもの皮を厚めに剥くなどのコツを教わりました。



「里芋は面取りすると煮崩れせんよ～」

日田杉を使ったしめ縄作りに挑戦～大山っ子チャレンジ教室

12月25日（日）の大山っ子チャレンジ教室は「日田杉を使ったしめ縄作り」を大山公民館で行い児童15名が参加しました。講師は日田市の製材所「高村木材」の高村さん。

高村さんのしめ縄普及活動は、木を使って暮らしや社会を豊かにした取り組みなどを評価する「ウッドデザイン賞 2020」奨励賞を受賞しています。参加した児童は初めて^な縄うしめ縄に悪戦苦闘。飾りに使う杉やひのきの葉を観察しながら飾りつけました。

林業木材業を基幹産業とする私たちのまち。日田杉の魅力に触れた活動となりました。



いきいき大学

元アイドルの弁護士さんのお話

12月8日開催のいきいき大学では、大分市に事務所を構える弁護士の平松まゆきさんに「私がアイドルから弁護士になるまで」と題し講演いただきました。

「大好きなアイドルに会いたい」という動機で受けたCMコンテストで優勝、優秀だった学業がアイドルの仕事が忙しすぎてままなくなり、一念発起で大学・大学院へ。一度社会人として働くも「弁護士になりたい」という夢に向かい再度法科大学院へ。司法試験に合格するまでの壮絶なストーリーに参加者は聞き入っていました。



「辛くて苦しい勉強時代を乗り越えられたのは周囲のみんなが偉いねと褒めてくれたから。『褒める』はモチベーションを上げます」

大山公民館で展示をおこないます！ 日田市立博物館 企画展

鍛冶の歴史と日田の鍛冶屋さん

令和3年11月中旬～1月末まで日田市立博物館で行われた企画展を大山公民館で下記期間中展示いたします。

展示期間 2月8日(火)～3月7日(月)
※土日を除く平日

展示場所 大山公民館 102.103 研修室
開館時間 午前8時30分～午後5時

鍛冶の歴史は日本では弥生時代までさかのぼります。鍛冶は稲作とともに伝わった技術で、それまで石製の道具を使っていた日本に大きな革命を起こしたといわれています。

戦前・戦後にかけて日田にはおよそ30軒もの鍛冶屋さんがあり農具・林業道具・下駄工具・石工道具・大工道具を作り市民にとって不可欠な存在でしたが、現在日田で唯一残るのは大山町中川原の「川津鍛冶工場」さんだけとなっています。

企画展では鍛冶や製鉄がどのような歴史を生み、日田の鍛冶屋さんが人々の暮らしとどのように関わってきたかを紹介しています。川津由雄さんの鋏をつくる工程動画やコメントを展示しています！

鍛冶からきた言葉やことわざ知ってる？

(企画展展示クイズコーナーより抜粋)



●鉄は熱いうちに打て

鉄は赤く焼けたときに打たなければ冷えて硬くなり折り曲げて形を整うことができなくなる⇒自分が行おうと決心したことはすぐにやるべきだ。

●相槌(あいづち)を打つ

鍛冶を行う時には、師匠と弟子が交互に鉄を打ちました。師匠の打つタイミングにあわせて槌(つち)をふり降ろす様子はとても息が合いました。⇒相手の話に合わせること。

●代わり番子

鍛冶屋が鉄をつくる「たたら場」では、炉内の温度を高めるための「ふいご」と呼ばれる送風装置がありました。ふいごを吹く作業にあたった人々は「番子」と呼ばれ、作業が一人では大変なので交替で行っていました。⇒交替しながら作業すること。

●極め付き(今は「極めつけ」として使われている)

刀鍛冶が満足いく品物ができると、「極め書き」という鑑定書を刀と一緒に添える風習がありました。「極め書き」がある刀は価値が上がることから、それが添えられていることを「極め付き」というようになりました。

●とんちんかん(頓珍漢)

鍛冶場では、師匠と弟子が交互に鉄を打ちましたが、その打つ音がずれて聞こえる響きを「とんちんかん」と呼んでいました。

地域の話題

雪の降る中で門松作り 高平神社



12月26日（日）午前、鎌手の高平神社にて鎌手の有志9名による「門松作り」が行われました。

雪が舞う極寒の中での作業でしたが、地域住民の安全祈願を込めました。

有志の一人として参加した柿本真次さんは「竹を縄で結びつけるときの『男結び』がなかなかできませんでした。竹の斜め切りは鎌手の『大山椅子』さんをお願いしました。みんな和気あいあいと作りました。」と話しました。



←高平神社境内で作った門松の前で記念撮影する鎌手有志

大山公民館 これからの予定

2月16日（水） いきいき大学 「大人こそ読みたい絵本の魅力」

講師 エホント 野村紀子さん

3月5日（土） 大山っ子チャレンジ教室 「しいたけコマ打ち」

講師 横田秀喜さん

3月16日（水） いきいき大学 研修視察 研修先 社会福祉法人「太陽の家」

3月23日（水） 料理教室「春巻き作り」講師 黒川グロリアさん（1月延期分）

※新型コロナウイルス変異株感染拡大状況により中止する場合があります。

♡チョコレートを買うときに♡2月14日はバレンタインデーですね。

大切な人にチョコレートを渡す方もいらっしゃると思います。

途上国ではカカオの実を採るのに子どもたちが労力として使われていて学校に行けなかったり、労働者に適正な賃金が払われない現実があります。

商品を買うときにあんまり安いものは「どうなのかな？」と考えてみる。

チョコをあげる人もうれしい、もらう人もうれしい、生産する人もうれしい、そんなフェアトレードマーク付きのチョコを買うのも「世界の貧困をなくす」取り組みとなります。

一人でも100個買うのは大変だけど、100人が1個ずつ買うことはできそう。私たちのアクションは世界につながっています。

※フェアトレード・・・「公平・公正な貿易」途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す貿易のしくみ



寄付のお礼

諫山光夫様より、息子さんである諫山創さん著「進撃の巨人」28巻〜34巻（完結編）を寄付いただきました。大変ありがとうございました。本は本館談話室の本棚に置いていきます。

館長の一

今、スマホは学生や社会人にはなくてはならない道具になっています。一日中持っていないと不安だそうです。高齢者は携帯に電話しても出なく不携帯で「どこにいても電話がつながり面倒である」とのことでした。でも高齢者世帯や一人暮らしの方は、遠方にいる家族はどこにいても所在が分かり安否の確認や話もでき安心で、安全でもあるのです。

ガラケー携帯もauは今年の三月まで、ソフトバンクは二〇二四年の一月下旬まで、ドコモが二〇二六年の三月末までと発表しています。デジタル化の波に乗りざるを得ない状況です。

コロナ対策の地域振興策でデジタルマネー（日田・ペイ）が採用されクーポンよりお得ですというものの利用できなければそのお得感も味わえません。使えて当たり前の時代になっています。仲間と一緒にちよつと無理して使ってみたらどうでしょう。「学ぶ、集う、繋がる」の大山公民館では集中講座を今年は二回してみました。手前味噌ですが参加いただいた方は「新しいことに気が付き面白くなった。」と好評です。人数も十人以上で実施しています。今年こそはデジタル時代にチャレンジしてみましょう。